

平成 30 年 度
事 業 計 画 書

社会福祉法人 日立市社会福祉事業団

平成30年度社会福祉法人日立市社会福祉事業団事業計画

はじめに

日立市社会福祉事業団は、昭和50年に特別養護老人ホーム日立市萬春園の設置を期に設立されて以来、日立市の福祉施設の管理運営を主に高齢者福祉及び障害者福祉の中心的役割を果たしてまいりました。

その後、高齢者福祉の分野においては、介護保険制度が創設され、福祉サービスの在り方が大きく転換し、また、障害者福祉の分野においても障害者総合支援法が制定され、日常生活の自立にとどまらず、地域社会との関わりの中で社会生活の自立に向けた支援が求められることになりました。そのため、これらの社会福祉制度の変革に対応した事業の充実を図り、着実な実績を積み上げて地域福祉の推進に寄与してまいりました。

一方で、地方自治法に基づく指定管理者制度の導入に伴い、平成18年度からは指定管理者として日立市萬春園等の管理運営業務を受託することになりましたが、本事業団を取り巻く環境は、依然として厳しいものになっております。

平成30年度は、施設の老朽化や慢性的な介護職員不足などの様々な課題に対し、施設の今後の方向性の検討及び働きがいのある職場づくりを推進していくとともに、介護保険及び障害福祉サービス等報酬改定、介護予防事業における市町村を主体とした総合事業への完全移行など、制度の変革に対応しながら、よりニーズに沿った福祉サービスの提供に努めてまいります。

また、地域の福祉ニーズが多様化する中、公設民営である本事業団の役割を認識し、低所得者のほか様々な理由による入所困難者の受入など、セーフティネットとしての機能を果たしていくとともに、地域の中で信頼される施設として、地域住民の皆様と連携を図りながら地域社会の福祉の更なる向上に努めてまいります。

I 運営方針

- 1 日立市が設置した社会福祉施設の指定管理者として、公設民営の役割を自覚し、広く多様化する市民のニーズに沿った福祉サービスの提供に努め、日立市における社会福祉の増進に寄与する。
- 2 利用者本位の満足度の高いサービスを提供し、生活の質の向上と自立に必要な援助を行う。
- 3 研修体系の充実を図り、専門的な知識や技術に加えて、豊かな人間性と情熱を持った人材を育成する。
- 4 ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行い、広く福祉に携わる人材の育成に貢献するとともに、開かれた施設運営を目指す。
- 5 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を効果的・適正に行うため、自主的に経営基盤の強化を図るとともに、事業経営の透明性の確保を図る。

II 事業概要

1 指定管理者受託施設

施設・事業名	種 別	定員(人)	受託年月日
萬春園	特別養護老人ホーム (指定介護老人福祉施設)	100	S 50. 4. 1
同 短期入所事業	老人短期入所事業 (指定短期入所生活介護事業所・指定 介護予防短期入所生活介護事業所)	空床利用	
萬春園デイサービスセンター	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所)	25	H 6. 12. 21
はまぎく荘デイサービスセン ター	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所)	25	S 63. 7. 1
かねはたデイサービスセンタ ー	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所・認知症対応 型通所介護事業所・介護予防認知症 対応型通所介護事業所)	一般 25 認知症 8	H12. 3. 1
かねはた短期入所施設	老人短期入所施設 (指定短期入所生活介護事業所・指定 介護予防短期入所生活介護事業所)	20	H12. 3. 1
同 障害福祉サービス事業	(指定短期入所事業所)	空床利用	H19. 1. 1
かねはた老人ホーム	養護老人ホーム	50	H12. 2. 1
大みかけやき荘	障害者支援施設 (指定生活介護事業所・指定施設入所 支援事業所)	50	S 57. 4. 1
同 障害福祉サービス事業	(指定短期入所事業所)	宿泊 3	
老人福祉センターはまぎく荘	老人福祉センター		S 63. 5. 2

2 受託事業等

事業名	施設名	定員(人)	受託年月日
生活管理指導短期宿泊事業	かねはた老人ホーム	2	H12. 4. 1
生きがいつくり支援事業	かねはた 老人福祉センターはまぎく荘	10	H13. 4. 1
障害者等日中一時支援事業	大みかけやき荘	日中 5	H18. 10. 1
グループホーム事業	けやきホーム	4	H21. 6. 15
ミニデイサービス事業	萬春園デイサービスセンター はまぎく荘デイサービスセンター	午前 5 午後 5	H27. 4. 1

3 自主事業

施設・事業名	種別	設置年月日
萬春園介護計画センター	居宅介護支援 (指定居宅介護支援事業所)	H15. 7. 23

Ⅲ 事務局（法人全体を含む）事業計画

1 行事等

時期	名称
4月	人事異動
5月	監事決算監査、理事会
6月	評議員会
8月	広報誌「事業団ひたち」発行
9月	職員採用試験（平成31年4月採用）
12月	理事会
2月	広報誌「事業団ひたち」発行、新年度予算編成
3月	理事会

2 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
施設長会議	施設運営に関する情報共有及び検討	毎月	常務理事、事務局長、施設長等
運営検討委員会	マニュアル等の統一、法人内の課題に関する情報共有及び検討	随時	常務理事、事務局長、担当委員
デイサービスセンター運営協議会	サービスの向上、利用の促進、業務の標準化などの検討	随時	施設長、生活相談員等
衛生委員会	職員の健康管理、安全及び衛生に関する事項の検証及び対策の検討	年2回	委員長、衛生管理者、担当委員

3 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員（施設配属職員を含む）
10月	会計研修	事務局事務員
備考	・外部研修は、必要に応じて適宜参加	

IV 施設別事業計画

萬春園

- 特別養護老人ホーム「日立市萬春園」 (指定介護老人福祉施設)
- 同 短期入所事業
(指定短期入所生活介護事業所・指定介護予防短期入所生活介護事業所)
- 老人デイサービスセンター「日立市萬春園デイサービスセンター」
(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス)
- 同 ミニデイサービス事業
- 居宅介護支援「日立市萬春園介護計画センター」 (指定居宅介護支援事業所)

[施設共通目標]

- 1 介護保険制度に基づき、サービス提供者としての責任と自覚を持ち、施設及び居宅サービス事業の運営基準における趣旨の具現化を進める。
- 2 感染症マニュアルに基づいた標準予防策を実践し、感染症の予防に努める。また、流行等の情報収集及び職員研修の実施により、感染症予防対策の充実と蔓延防止を図る。
- 3 災害などの発生時に迅速な対応ができるよう、自衛消防組織を中心に様々な想定をした防災訓練を実施し、防災意識の高揚に努める。

[各施設の主要目標]

- 1 日立市萬春園
 - (1) 重点目標
 - ア 利用者の重度化による医療行為を必要とする利用者の増加に伴い、主治医のもとと看護職員の24時間オンコール体制及び多職種協働体制の強化を図る。また、医療機関との連携により、利用者の健康維持及び体調変化時の早期対応に努める。
 - イ 栄養ケア・マネジメントにより、利用者の栄養状態の把握、改善すべき栄養上の問題解決のための計画作成・実施・評価等を行い、健康状態の改善及び生活の質の向上を図る。
 - ウ 介護事故等の事例について、徹底して原因分析を行い、再発防止に努めるとと

もに、内外部の研修を定期的実施し、専門性の向上を図る。

エ 第三者委員を含めた虐待防止委員会を中心として、自己評価及び施設の取組状況の確認を行い、利用者の人権尊重に関する意識向上を図るとともに、苦情解決体制の強化に努める。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	外出して桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	端午の節句、菖蒲湯	五月人形の鑑賞や菖蒲湯などで、季節感を味わう。
6月	新緑ドライブ	外出して新緑を鑑賞し、初夏の訪れを感じる。
7月	七夕	短冊などの七夕の飾り付けを行い、夏の雰囲気味わう。
8月	納涼会	夏祭りの雰囲気と季節感を味わう。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、家族と共に長寿の祝いをする。
	十五夜	団子を作り、お供えすることで、秋の雰囲気味わう。
10月	十三夜	団子を作り、お供えすることで、秋の雰囲気味わう。
11月	紅葉ドライブ	外出して紅葉を鑑賞し、秋の訪れを感じる。
12月	忘年会	家族と共に一年を振り返るとともに、交流の機会とする。
	柚子湯	柚子の香りを楽しみながら、風邪の予防をする。
	餅つき	師走の雰囲気や新年を迎える気持ちを高める。
1月	賀詞交換会	おせち料理や昔ながらの遊びで正月の雰囲気味わう。
	初詣	近隣の神社で、新年の健康と幸せを祈願する。
2月	節分	豆まきを行い、一年の健康を祈願する。
3月	観梅ドライブ	外出して梅を鑑賞し、春の訪れを感じる。
	ひな祭り	ひな人形を飾り、春の雰囲気味わう。
備考	食事会、買物、外出、散歩などは、随時実施	

(3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	職員体制等の検討及び情報共有	随時	全職員
ステーション会議	利用者個々の介護内容・方法の検討	年4回	施設長、各専門職、介護職員

ケアカンファレンス	施設サービス計画書の検討	毎 月	施設長、各専門 職、介護職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎 月	施設長、各専門 職、介護職員
施設行事の担当者会 議	施設行事の打ち合わせ	随 時	施設長、各専門 職、担当委員
入所検討委員会	入所希望者についての優先順位 及び受入可否の検討	年 4 回	施設長、第三者委 員、市介護保険課 職員、担当委員
事故・安全検討委員 会	ヒヤリハット・介護事故の原因 分析、防止策の検討	年 4 回	施設長、各専門 職、担当委員
生活検討委員会	介護内容及びマニュアルの検討	年 4 回	施設長、各専門 職、担当委員
身体拘束廃止委員会	身体拘束に関わる事項の検証及 び対策の検討	年 4 回	施設長、各専門 職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、 点検、検証及び防止策の検討	年 4 回	施設長、担当委 員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の検討	年 4 回	施設長、各専門 職、担当委員
痰吸引検討委員会	痰吸引の安全管理及び研修	年 4 回	施設長、各専門 職、担当委員
褥瘡防止検討委員会	褥瘡防止に関わる事項の検証及 び防止策の検討	年 4 回	施設長、各専門 職、担当委員
環境整備検討委員会	施設内外の環境美化及び点検	年 4 回	施設長、各専門 職、担当委員
防災対策委員会	防災、施設安全に関する事項の 確認及び検討	年 4 回	施設長、担当委 員等

(4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
9月	虐待防止研修	全職員
10月	手洗い方法研修、ノロウイルス対策研修	全職員
11月	痰吸引研修	介護職員（認定特定行為業務従事者）
3月	普通救命講習会	看護職員、介護職員等
備考	・排せつ介助研修は、随時実施 ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：9月・3月、夜間想定訓練：1月、風水害想定訓練：11月、ステーション毎の避難訓練：その他の月	

2 日立市萬春園デイサービスセンター

(1) 重点目標

ア 利用者の心身の状況、利用者及び家族の要望、在宅環境を踏まえて作成した通所介護計画書に基づき、適切なサービス援助に努める。また、居宅介護支援事業者との連携を強化し、在宅生活機能の維持・向上を図る。

イ 創作活動やレクリエーションなどのメニューの充実、個別機能訓練の強化により、活性化したサービス時間の提供に努める。

ウ 内外部の研修及び自主勉強会により、介護技術及びサービスの質の向上を図る。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	外出して桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	新緑ドライブ	新緑の中を散歩し、気分転換をする。
	菖蒲湯	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
6月	海岸ドライブ	海岸沿いのドライブで、初夏の訪れを感じる。
7月	七夕飾り	短冊などの七夕の飾り付けを行い、夏の雰囲気を楽しむ。
8月	夏祭り	夏祭りの雰囲気と季節感を味わう。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。

10月	運動会	身体を動かし、皆で力を合わせて競技を楽しむ。
11月	作品展示会	創作活動の作品を展示する。
	紅葉ドライブ	紅葉狩りで、秋の訪れを味わう。
12月	忘年会	一年を振り返り、年末の雰囲気味わう。
	柚子湯	柚子の香りを楽しみながら、風邪の予防をする。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、一年の健康を祈願する。
3月	観梅ドライブ	外出して梅を鑑賞し、春の訪れを感じる。
備考	誕生会、手作りクッキング、お楽しみランチは毎月実施	

(3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻 度	参加者
職員会議	職員体制の検討、施設行事の打ち合わせ	毎 月	全職員
ケース会議	通所介護計画書の検討	毎 月	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎 月	施設長、担当委員等
事故・安全検討委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、担当委員等
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の検討	年4回	施設長、担当委員等
環境整備検討委員会	施設内外の環境美化及び点検	年4回	施設長、担当委員等
防災対策委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等

(4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員

9月	虐待防止研修	全職員
10月	手洗い方法研修、ノロウイルス対策研修	全職員
3月	普通救命講習会	看護職員、介護職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・ 総合防災訓練：9月・3月、風水害想定訓練：11月 	

(5) 臨時営業日

月曜祝日	4 / 30、7 / 16、9 / 17、9 / 24、10 / 8、12 / 24、1 / 14、 2 / 11
------	--

3 ミニデイサービス事業

(1) 重点目標

日常生活を営む上で支援が必要な高齢者に対し、要介護状態等となることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の希望及び身体的状況に応じた機能訓練、入浴、健康体操、趣味活動、レクリエーション等の短時間の通所型サービスを提供する。

(2) 施設行事

萬春園デイサービスセンターの行事に参加する。

4 日立市萬春園介護計画センター

(1) 重点目標

ア 介護報酬改定等への円滑な対応を図るとともに、日立市・地域包括支援センター・介護保険事業所・医療機関との連携を密に行い、利用者が適切な介護サービス等を受けられるよう支援する。

イ 研修会及び勉強会に積極的に参加し、専門性及び職員の資質の向上を図る。また、職員一人ひとりが自信を持って働くことができる「明るい」職場づくりを推進する。

かねはた

○養護老人ホーム「日立市かねはた老人ホーム」

○同 生活管理指導短期宿泊事業

○老人短期入所施設「日立市かねはた短期入所施設」

(指定短期入所生活介護事業所・指定介護予防短期入所生活介護事業所)

○同 障害福祉サービス事業 (指定短期入所事業所)

○老人デイサービスセンター「日立市かねはたデイサービスセンター」

(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス事業所・認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所)

○生きがいきづくり支援事業

[施設共通目標]

- 1 地震、火災、風水害など様々な災害を想定とした防災訓練を反復的に実施し、避難計画の実効性及び組織全体としての対応力を高める。
- 2 ヒヤリハット及び介護事故の事例分析、再発防止策の計画立案・実施・評価・改善のPDCAサイクルの構築により、介護事故の予防能力を強化する。
- 3 感染症対策委員会を中心として対策マニュアルなどの見直しを行うとともに、職員研修により標準予防策及び蔓延防止策の徹底を図り、感染症予防に努める。

[各施設の主要目標]

- 1 日立市かねはた老人ホーム

(1) 重点目標

ア 生活の場が笑顔溢れる空間になるよう、職員一人ひとりが常に優しさと丁寧さを持って、利用者に寄り添った支援をする。

イ 利用者ができる限り自立した日常生活を営むことができるよう、シルバーリハビリ体操や生活リハビリを積極的に実施し、転倒事故の防止及び身体機能の維持向上に努める。

ウ 社会適応が困難な利用者の増加に伴い多様化する個人のニーズに対応するため、内外研修を通して適切な相談援助方法を習得する。

エ 地域清掃などの環境美化活動を支援し、地域との繋がりや利用者の生活意欲の向上を図る。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	市内の名所となっている桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	野外昼食会	春の陽気を感じながら、野外で昼食を楽しむ。
6月	外食会	普段の食事と違った雰囲気、旬の味覚を楽しむ。
7月	小グループ旅行	温泉で心身ともにリフレッシュする。
	映画会	大型スクリーンで映画を楽しむ。
8月	納涼会	夕涼みを兼ねて、夏祭りの気分を楽しむ。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いを行う。
	小グループ旅行	果物狩りに行き、秋の味覚を楽しむ。
10月	衣類買物外出	自分の好みに合った衣類を購入し、外食を楽しむ。
	小グループ旅行	市内の観光スポットを巡り、地元の良さを感じる。
11月	合同文化祭	各種クラブで制作した作品を展示し、鑑賞する。
	小グループ旅行	紅葉を見ながらドライブを楽しむ。
12月	焼芋会	園芸クラブで育てた芋を食べ、収穫の喜びを味わう。
	忘年会	一年を振り返りながら、利用者間の親睦を深める。
1月	賀詞交換会	新春を祝うとともに、新年の無病息災を誓い合う。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
	レクリエーション大会	身体を動かし、各種ゲームを楽しむ。
3月	映画会	大型スクリーンで映画を楽しむ。
	観梅ドライブ	ドライブを楽しみながら、いち早く春の訪れを感じる。
備考	誕生会は、毎月実施	

(3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の支援内容・業務内容の情報共有及び検討	随時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門

			職、支援員
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、各専門職、担当委員
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年2回	施設長、各専門職、担当委員
ケアプラン検討委員会	ケアプランに関する検討	年2回	施設長、各専門職、担当委員

(4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
6月	介護技術研修	生活相談員、支援員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：10月 	

2 生活管理指導短期宿泊事業

(1) 重点目標

関係機関との連絡調整を密に行い、利用者一人ひとりの生活状況に応じた適切な生活支援を行い、基本的な生活習慣の確立が図れるよう支援する。

(2) 主要行事

かねはた老人ホームの行事に参加する。

3 日立市かねはた短期入所施設

(1) 重点目標

ア 居宅介護支援事業者等と密接な連携を図り、利用者及び家族の個々のニーズに適切に対応していくとともに、空き情報の提供を行い、利用率の向上に努める。

イ 利用者一人ひとりの心身の状況の把握及びケアの統一、介護技術及び知識向上のための研修の実施、介護事故及びヒヤリハット事例の分析により、介護事故の防止に努める。

ウ 日常生活能力の維持と生活意欲の向上が図れるよう、機能訓練や余暇・趣味活動の工夫及び充実に努め、在宅での生活が継続できるよう支援する。

エ 顧客満足度調査及び分析を行い、利用者の満足度の向上を図る。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
5月	端午の節句	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
7月	七夕	七夕の飾り付けを行い、季節感を楽しむ。
8月	納涼会	夕涼みを兼ねながら、夏祭りの気分を楽しむ。
9月	敬老の集い	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。
10月	月見	団子を作ってすすきを飾り、季節感を楽しむ。
	ミニ運動会	利用者同士で力を合わせて、各種競技を楽しむ。
11月	合同文化祭	利用時に制作した作品を展示し、鑑賞する。
1月	新年を祝う会	賀詞交換を通し、新年を迎えた喜びを味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
備考	おやつ作り、フラワーアレンジメントは、毎月実施	

(3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容の情報共有及び検討	随時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門職、介護職員
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因	年4回	施設長、担当委

	分析、防止策の検討		員等
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
介護技術向上委員会	介護技術や知識、サービス内容の検討	年3回	施設長、担当委員等
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、担当委員等
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年2回	施設長、担当委員等

(4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
6月	介護技術・接遇研修	全職員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	介護技術・接遇研修	全職員
	普通救命講習会	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：10月 	

4 日立市かねはたデイサービスセンター

(1) 重点目標

- ア 各種研修を通して、職員の資質及び専門性の向上に努め、その人らしい在宅生活が続けられるよう、利用者の能力と個性を活かした支援を行う。
- イ 認知症に関する様々な周辺症状の理解を深めるとともに、利用者一人ひとりの症状及び状態を把握し、寄り添ったケアを実施する。
- ウ 事故防止委員会を中心として、ヒヤリハット・介護事故の情報共有、原因分析及び防止策の検討を行い、介護事故の再発防止に努める。

エ 利用者の生きがいや自信に繋がるレクリエーション、趣味活動、機能訓練などのサービスの充実を図る。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	花見ドライブ	ドライブで桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	お楽しみ風呂	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
	テラスで食事	テラスで食事し、中庭の花や新緑で季節を感じる。
7月	七夕	短冊などの七夕の飾り付けやボランティアによる音楽演奏を行い、季節感を楽しむ。
8月	お楽しみ風呂	ラベンダー湯により夏の疲れを癒す。
9月	敬老会	ボランティアによる歌や踊りを鑑賞し、長寿を祝う。
	運動会	利用者同士で力を合わせて、各種競技を楽しむ。
10月	月見	団子を作ってすすきを飾り、季節感を楽しむ。
11月	秋のドライブ	市内の紅葉を鑑賞し、季節感を楽しむ。
	合同文化祭	利用時に制作した作品を展示し、鑑賞する。
12月	お楽しみ風呂	柚子湯により季節感を楽しむ。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
3月	おやつ作り	桜餅を作り、季節感を楽しむ。
備考	誕生会は、毎月実施	

(3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容の情報共有及び検討	随時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、担当職員等
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、担当職員等
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、	年4回	施設長、担当委

	点検、検証及び防止策の検討		員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、担当委員等
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年2回	施設長、担当委員等
運営推進会議	サービス提供状況等の報告、サービスに関する意見交換	年2回	施設長、外部委員 (地域住民の代表 外4名)

(4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
7月	認知症ケア研修	全職員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：10月 	

(5) 臨時営業日 なし（土・祝日は通常営業）

5 生きがづくり支援事業

(1) 重点目標

ア 軽度スポーツ、趣味活動及び教養講座などを実施し、生きがい活動の助長を図り、運動機能の向上、閉じこもり・認知症・うつなどの予防を行う。

イ 利用者一人ひとりに応じた介護予防支援計画に沿って、サービスの提供と評価を行い、運動機能の維持・改善を支援する。

(2) 主要行事

ア 季節感を取り入れたレクリエーション活動（節句、七夕、クリスマスなど）

イ 教養講座

はまぎく荘

○老人福祉センター「日立市老人福祉センターはまぎく荘」

○老人デイサービスセンター「日立市はまぎく荘デイサービスセンター」

(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス事業所)

○同 ミニデイサービス事業

[各施設の主要目標]

1 日立市老人福祉センターはまぎく荘

(1) 重点目標

ア 地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動の場として、高齢福祉課と連携を図りながら、気軽に参加できる明るい施設づくりに努める。

イ 地域住民の情報交換や交流の拠点として施設を積極的に開放し、親しまれる施設の運営を行い、利用の促進を図る。

ウ 職員の防災意識の高揚及び感染症防止に努め、事故のない施設運営に努める。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
5月	クラブ代表者会議	施設利用に関する意見交換を行う。
12月	年末大掃除	職員及び利用者で館内の大掃除を行い、新年を迎える準備をする。
2月	教養講座	講座を開催し、教養の向上や健康増進を図る。

2 日立市はまぎく荘デイサービスセンター

(1) 重点目標

ア 利用者及び家族の意向に沿った通所介護計画書に基づき、適切なサービスを提供することにより、身体機能の維持・向上を図るとともに、家族及び居宅介護支援事業者等と連携を密にし、在宅生活の継続及び日常生活の質の向上に努める。

イ 利用者のニーズや残存機能を活かした趣味活動、創作活動、レクリエーションなどのメニューの充実を図るとともに、「明るく・楽しく・安心」をモットーに満

足度の高いサービスの提供に努める。

ウ 内外部研修の活用及び職員間の情報共有により、事故防止及び感染症予防に関する知識・技術の向上に努める。

エ 災害発生時には、福祉避難所としての役割を担い、地域社会貢献を図る。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	花見ドライブ	外出して桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
	こいのぼり作り	昔を懐かしみながら、交流を図る。
5月	花植え会	花壇などに花や野菜を植え、季節感を味わう。
6月	買物ツアー	利用者の希望に沿った店に行き、買物を楽しむ。
7月	七夕	願い事を書いた短冊を飾り、季節を感じる。
8月	夏祭り	夏祭りの雰囲気を楽しみながら、交流を図る。
9月	おやつ作り	手作りのおやつを作りながら、交流を図る。
	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。
10月	ミニ遠足	近隣に外出し、気分転換を図る。
11月	作品展示会	利用時に制作した作品を展示・鑑賞し、生活意欲の向上を図る。
	買物ツアー	利用者の希望に沿った店に行き、買物を楽しむ。
12月	クリスマス会	クリスマスの飾り付けなどにより、季節感を楽しむ。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
3月	ひな祭り	ひな人形を飾り、春の訪れを感じる。
	おやつ作り	手作りのおやつを作りながら、交流を図る。
備考	変わり湯、誕生会は、毎月実施	

(3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容・業務内容の情報共有及び検討	毎月	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、調理員、

			介護職員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の確認及び検討	年2回	施設長、担当委員等
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年2回	施設長、担当委員等

(4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	介護技術研修	全職員
6月	医務研修（応急・救急処置）	全職員
10月	介護技術研修	全職員
11月	医務研修（感染症予防）	全職員
2月	虐待防止研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・10月、風水害想定訓練：7月 	

(5) 臨時営業日

月曜祝日	4/30、7/16、9/17、9/24、10/8、12/24、1/14、2/11
------	--

3 ミニデイサービス事業

(1) 重点目標

日常生活を営む上で支援が必要な高齢者に対し、要介護状態等となることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の希望及び身体的状況に応じた機能訓練、入浴、健康体操、趣味活動、レクリエーション等の短時間の通所型サービスを提供する。

(2) 主要行事

はまぎく荘デイサービスセンターの行事に参加する。

大みかけやき荘

○障害者支援施設「日立市大みかけやき荘」

(指定生活介護事業所・指定施設入所支援事業所)

○同 障害福祉サービス事業

(指定短期入所事業所)

○障害者等日中一時支援事業

○グループホーム事業「けやきホーム」

(指定外部サービス利用型共同生活援助事業所)

1 日立市大みかけやき荘

(1) 重点目標

ア 本人の意向に基づいた個別支援計画書に基づき、日常生活や小グループの活動班における本人の意思決定を尊重し、利用者一人ひとりの能力を最大限発揮できるサービスを提供する。

イ 利用者の高齢化や重度化、強度行動障害等に応じた適切な支援体制の充実、利用者の状態に合わせた体操や散歩の継続的な実施により、身体機能の維持・向上を図る。

ウ 事故検討委員会を中心として、ヒヤリハットや支援事故の情報共有、再発防止策の立案・実施・検討・見直しのP D C Aサイクルの構築により、支援事故防止に努める。

エ 感染症対策マニュアルに基づいた研修及び標準予防策の徹底により、感染症予防及び蔓延防止に努める。また、防災計画に基づき、様々な災害に対応した防災訓練を行い、安心して生活できる施設づくりを行う。

オ 障害者総合支援法及び関係法令を遵守し、障害者の人権尊重や権利擁護に関する意識の徹底を図るとともに、内外部の研修参加により専門性及び支援技術の向上に努める。

(2) 施設行事

時期	行事名	目的等
5月	端午の節句	折り紙やちぎり絵で鯉のぼりを作り、雰囲気を楽しむ。
6月	けやき祭	けやき荘の創立を祝って、家族と共に会食を楽しむ。

7月	七夕	短冊に願を込め、笹に飾り付けを行い、季節感を味わう。
8月	納涼会	屋外で飲食やゲームを楽しみながら、夏祭りの雰囲気を楽しむ。
9月	市外遠足	日帰りの遠足に出かけ、気分転換を図る。
10月	野外昼食会	畑で収穫した野菜や旬の食材を楽しむ。
12月	年忘れ会	家族と共に演芸や食事を楽しみながら、一年を振り返る。
	クリスマス会	ツリーやケーキなどによりクリスマスの雰囲気を楽しむ。
1月	正月	おせち料理や初詣で新年を祝う。
2月	節分	豆まきをして、無病息災を願う。
3月	桃の節句	折り紙やちぎり絵でひな飾りを作り、雰囲気を楽しむ。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会は、毎月実施 ・けやき' Sキッチン、小グループ遠足は、随時実施 ・地域の行事（スポーツ大会・運動会等）には、適宜参加 	

(3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	事業計画、業務内容などの情報共有及び検討、研修報告	年6回	全職員
棟会議	利用者個々の支援内容の情報共有及び検討	随時	施設長、各専門職、生活支援員
ケース検討会議	個別支援計画書の検討、評価、見直し	毎月	施設長、各専門職、担当者
給食検討会議	献立及び提供方法の検討、嗜好調査	毎月	施設長、各専門職、生活支援員
生活検討委員会	施設内の課題の改善に関する計画、実施及び見直し、職員研修	年4回	施設長、各専門職、担当委員
事故検討委員会	ヒヤリハット・支援事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年5回	施設長、担当委員、第三者委員

感染症対策委員会	感染症予防策の実施、検討及び研修の実施	年4回	施設長、担当委員等
安全対策委員会	防災訓練、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等
個別支援計画作成委員会	個別支援計画書に関する検討、計画書作成研修の実施及び指導	随時	施設長、担当委員等

(4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
6月	感染症対策研修（手洗い方法）	全職員
7月	虐待防止研修	全職員
9月	口腔ケア研修	生活支援員
10月	感染症対策研修（嘔吐物の処理）	全職員
12月	普通救命講習会	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：6月（夜間想定訓練）・11月、風水害想定訓練：9月 	

2 けやきホーム

(1) 重点目標

- ア 日常生活における様々な場面で、利用者の自己選択・自己決定を尊重するとともに、地域住民の一人として安心して自立した生活が送れるよう支援する。
- イ 毎日のバイタルチェックにより体調変化の早期発見するとともに、医療機関との連携を図り、利用者の健康維持に努める。
- ウ 巡回による定期的な火気などの点検・確認、自動火災通報装置の設置により安全対策の強化を図るとともに、定期的な防災訓練を行い、利用者が速やかに避難できるよう防災意識の高揚を図る。

(2) 施設行事等

時期	行事名	目的等
5月	市外遠足	日帰りの遠足に出かけ、気分転換を図る。
8月	納涼会	屋外で飲食やゲームを楽しみながら、夏祭りの雰囲気味わう。
10月	野外昼食会	畑で収穫した野菜や旬の食材を楽しむ。
12月	クリスマス会	クリスマス会を行い、親睦を深める。
備考	・食事会は、随時実施 ・総合防災訓練：11月（けやき荘に参加）、避難訓練：6月	

(3) 会議

名称	主な内容	頻度	参加者
ケース会議	支援内容の検討	随時	施設長、各専門職、担当職員